



# 薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校  
学校便り No.21  
令和5年12月 1日  
文責：校長 齋藤和彦

「傘どうぞ..使ってください！」  
～ぼかぼか心地になりました～

20日(月)朝はジョイフル側の日でした。いつものように子ども達の登校を待っていると、西の空の雲が暗くなってきて、パラパラと雨がとんできました。傘も持たずに学校を出た私は、「どうせ小雨だろう..」と、黄色い旗を伸ばしていると、お母さんと一緒に登校してきた1年生の女の子が、「校長先生、この傘どうぞ。」

「私は、お母さんと一緒だからだいじょうぶです。」と、水色のかわいい傘をさしだしてくれました。～横断歩道の真ん中でしたが、ありがたい気持ちとあかるい女の子の笑顔と想像もしなかった言葉に、「ありがとう。大丈夫だよ。きっとすぐにやむから。きれいな傘だね。」と、立ち話になってしまいました。次の親子からも「校長先生、風邪ひかないようにこれどうぞ。」

次々に登校を急ぐ子ども達からも「傘使いますか？ぼくら一緒に入って行くから！」等々、この朝、4回もやさしい言葉をかけていただきました。～心配させて..すみません。

風は冷たく寒い朝でしたが、ぼかぼか心地で学校に戻りました。本当にありがとうございました。

雨の日..風の日も..歩いて来ると「ちょっといいこと..」にも出会えそうです。



「薫の子..って、すばらしい！」  
～感心させられる班長さんのふるまい～

校長室に清掃に来てくれる子ども達。どの班も6年生の班長さんを筆頭に、一生懸命に清掃します。(当然、私もできる限り一緒に掃除します) 時に、「今日は外の落ち葉はきに行ってくるから、班長さんお願いします」と言うと、「はい！まかせてください！」そしてピカピカに。

その中で、6年生のふるまいに、感動にも近い姿を魅るときがあります。(これぞ薫小!) 校長室の電話が鳴ると「校長先生、電話です」～そして、班長さんは「し～っ！」のポーズを低学年の子に示して、さ～っと皆で部屋を出ていきます。戸を静かに閉めるのも6年生。「校長室への電話=大事な仕事」を察して席を外す。(大人でもなかなかできないふるまいです)

清掃終了の挨拶。。このときは、私も心から「ありがとうございました。(6年生、そして班のみなさん)」と言いたくなります。

今、この姿を見ている5年生は、きっと来年..あたり前のように、「し～っ！」のポーズとともに下級生を。。

薫小の美しいふるまいは、ずっと、つながっていくのです。



## ◆◇ 校長室より ◇◇

※ 職員会議 ～資料にて～

積雪 70 cm (気温-15℃) なんて日もあった..南会津に勤務していたころのことです

今年のカレンダーも残すところ1枚。お坊さんも走る..忙しさの「師走」に入ります。



あるAETの先生(カナダ出身)は、『“忙しい.忙しい”と言う日本の先生はかわいそう。』と言いました。「教師という仕事は合っていないのでは? もっといい...Happy!な仕事を選べば?」という理由でした。～彼女は、皮肉でもなく、良心的に語ってくれました。「なるほど!」と...飲み会でも話題になりました。

人が「忙しい」を使うときは、“不本意なこと”“意に反して”“嫌々..物事をするとき”..そんなときに使いがちです。その証拠に、夏休みに..「明日はディズニーランドで、翌日はディズニーシー、3日目は八景島...夜は横浜中華街。帰ってきて一日空けてゴルフなんだ!」～『ああ～忙しい』とは言わないですね。

「忙しい」を口にすると、次に続く言葉も愚痴っぽくなりがち。授業も子どもへも“嫌嫌”になりがちですね。「こんなにがんばっているのに..～忙しい」きっとこの負担感、労=対価が見合わないことによるもの?

今、次年度に向けて、全職員の知恵を結集して、労する意味や意義を見出せる「薫の教育計画」と合わせて、「働き方の整備/見直し/改善」を進めています。そのめざすところは、『薫の子のために』ただ一つです。

(※ その2週間後、このAETの先生は弁護士になるんだと突然モロッコに行ってしまいました。これには困りました。)